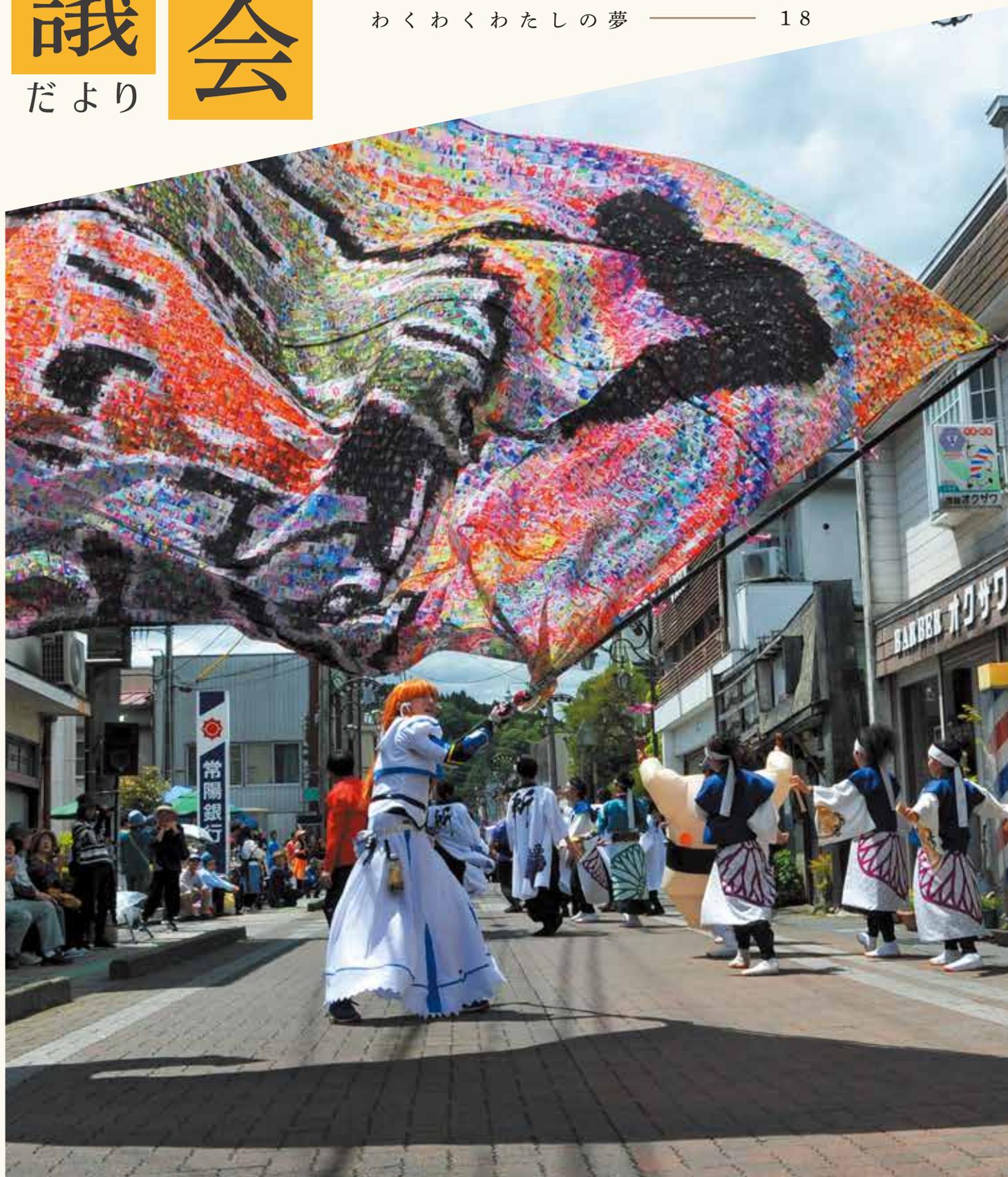


だいご
大子
議会
だより

目次

平成31年度予算関係	2～3
審議された議案	4～9
一般質問目次	10
わくわくわたしの夢	18



平成31年第1回定例会

平成31年度一般会計当初予算

98億4,091万円

(前年当初比5.8%増)

平成31年第1回定例会が、3月6日から3月15日までの10日間の会期で開催され、条例の制定、総合案内員予算を削除修正された平成31年度一般会計予算、特別会計予算、人事案件、平成30年度各会計補正予算等、町長提出議案等53件が審議され、「大子町行政組織条例の一部を改正する条例」1件が否決、52件が原案どおり可決・同意がされました。

一般質問には、10人の議員が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

平成31年度 各会計予算

会計別	予算額	前年度比較(△減)
一般会計	98億4,091万円	5億3,691万円
国民健康保険事業特別会計	22億8,183万7千円	△1億4,501万6千円
後期高齢者医療特別会計	2億6,164万6千円	456万円
介護保険特別会計	26億3,246万3千円	△5,078万9千円
介護サービス事業特別会計	1,206万9千円	△220万2千円
浄化槽整備事業特別会計	1億1,716万1千円	332万9千円
水道事業会計	7億4,904万9千円	△3,171万4千円
総額	158億9,513万5千円	2億9,210万3千円

特別会計等の主な補正額

特別会計等	補正額	補正後の予算額
大子町国民健康保険事業特別会計	△2,242万4千円	24億3,629万7千円
大子町後期高齢者医療特別会計	△567万円	2億5,126万4千円
大子町介護保険特別会計	△1億3,630万8千円	25億7,990万円
大子町介護サービス事業特別会計	△282万1千円	1,159万4千円
大子町浄化槽整備事業特別会計	△773万5千円	1億615万3千円
大子町水道事業会計(収益的支出)	423万3千円	5億1,666万8千円

平成 31 年度主な事業

■ 「若い世代への投資」

○空き家バンクリフォーム助成金事業（新規）	500 万円
○プログラミング教育用教材購入事業（新規）	173 万 8 千円
○スクールソーシャルワーカー配置事業（新規）	230 万 4 千円
○住宅リフォーム助成金事業（拡充）	2,750 万円
○木造住宅建設助成金事業（拡充）	300 万円
○学校給食費の無料化 保護者負担軽減額（継続）	4,369 万 5 千円
○保育料・幼稚園授業料の無料化 保護者負担軽減額（継続）	2,900 万 8 千円

■ 「地場産業の未来を応援」

○認定農業者育成支援事業補助事業（新規）	400 万円
○中小企業経営改善支援事業補助事業（新規）	250 万円
○有害鳥獣被害防止対策助成事業（継続）	1,275 万円
○まちなか空き店舗等活用支援事業補助事業（継続）	400 万円

■ 「大子町の魅力向上」

○観光施設公衆無線Wi-Fi設置事業（新規）	627 万円
○「森林の温泉」魅力度向上支援業務委託（新規）	357 万 5 千円
○第 74 回国民体育大会推進事業（拡充）	9,985 万 3 千円

■ 「安心安全の町づくり」

○訪問介護事業等事業費補助事業（新規）	750 万円
○配水管布設替設計業務委託【水道事業】（新規）	908 万 7 千円
○脳ドック・人間ドック健診補助事業【国保特会含む】（継続）	1,181 万 5 千円
○タクシー利用助成事業（継続）	1,626 万 1 千円

■ 「新庁舎建設の見直しと行政サービス向上」

○公衆無線LAN整備事業（新規）	105 万 5 千円
○新庁舎建設事業（拡充）	8 億 9,824 万 9 千円

一般会計補正予算の 主なもの

歳 入	補 正 額
地方交付税	1,455 万 5 千円
国庫支出金	△ 7,290 万 8 千円
町 債	△ 1 億 7,290 万円

歳 出	補 正 額
茨城県議会議員一般選挙（職員給与費を除く）	△ 608 万 2 千円
有害鳥獣対策費	△ 312 万 1 千円
担い手確保・経営強化支援事業補助金	764 万 1 千円
地籍調査費	△ 391 万 5 千円
道路新設改良費（補助分）	△ 5,163 万 7 千円
学校管理費（小中学校LAN整備）工事請負費	△ 2,922 万 8 千円
特別会計繰出金	△ 1,632 万 5 千円

逐条審議

「逐条審議」とは・・・

法律や条例などの箇条を一つひとつ取り上げて審議する方法とされています。大子町議会では、町長から提出された議案一つひとつについて審議しています。提出された条例や各事業について、主な質問を掲載しました。

総務課

問 各課長に携帯電話を持たせるとのことだが、利用記録を取る必要があるのでは。

答 携帯会社からの利用履歴を活用し確認していく。

問 災害時避難所となる「まいん」への公衆無線LAN整備は。

答 新年度予算では本庁舎への整備を予定している。まいんなど各避難所への整備は今後検討していく。

まちづくり課

問 奥久慈憩いの森の今後の活用は。

答 利用拡大や民間団体の利用促進などさまざまなイベントへの活用ができるよう検討していきたい。



奥久慈憩いの森

農林課

問 大子那須楮の生産拡大のための施策は。

答 担い手の確保が一番だが、今後生産者の方の話聞きながら支援の拡充を考えていく。



大子那須楮

観光商工課

問 町内花の名所へのトイレ設置や管理費等の支援は。

答 要望等も踏まえ今後慎重に検討していく。

問 道の駅のデジタルサイネージ設置はどのくらいの規模か。

答 観光客への情報発信であるが、43型ディスプレイを予定している。

生活環境課

問 防犯カメラはどこに設置するのか。

答 上小川小学校付近、旧黒沢小学校入口付近、大子西中学校入口県道付近、町営袋田第一、第二駐車場の5カ所を予定している。



第1回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第7号	大子町総合計画策定条例	原案可決
議案第8号	大子町行政組織条例の一部を改正する条例	原案否決
議案第9号	大子町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	大子町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	大子町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	大子町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	大子町指定地域密着型サービスの事業に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	大子町営浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	大子町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第16号	大子町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第17号	大子町営住宅及び特定町営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第18号	大子町水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第19号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第20号	町道路線の認定について	原案可決
議案第21号	町道路線の廃止について	原案可決
議案第22号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第23号	平成30年度大子町一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第24号	平成30年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第25号	平成30年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第26号	平成30年度大子町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第27号	平成30年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決

議案番号	議 案 名	結 果
議案第 28 号	平成 30 年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 29 号	平成 30 年度大子町水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 30 号	平成 31 年度大子町一般会計予算	原案可決
議案第 31 号	平成 31 年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第 32 号	平成 31 年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第 33 号	平成 31 年度大子町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第 34 号	平成 31 年度大子町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第 35 号	平成 31 年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算	原案可決
議案第 36 号	平成 31 年度大子町水道事業会計予算	原案可決
議案第 37 号	大子町副町長の選任について	原案同意
議案第 38 号	大子町教育委員会教育長の任命について	原案同意
議案第 39 号	大子町農業委員会委員の任命に関する特例について	原案同意
議案第 40 号 ～第 51 号	大子町農業委員会委員の任命について	原案同意
議案第 52 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第 53 号	袋田観瀑施設の指定管理者の変更について	原案可決
議案第 54 号	大子温泉保養センター森林の温泉の指定管理者の変更について	原案可決
議案第 55 号	大子町観光物産館の指定管理者の変更について	原案可決
議案第 56 号	大子町営宿泊施設やみぞの指定管理者の変更について	原案可決
選挙 1 号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙につて	原案可決
	閉会中の継続審査の申し出（総務委員会）	原案承認
	閉会中の継続審査の申し出（文教厚生委員会）	原案承認

議案の賛否状況

全議案（53件）のうち、採決に当たり意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案 番号	議案名	賛否数		議 員 名														
		賛 成	反 対	菊池 富也	須藤 明	藤田 英夫	菊池 靖一	櫻岡 義信	中郡 一彦	岡田 敏克	大森 勝夫	金澤 真人	齋藤 忠一	佐藤 正弘	鈴木 陸郎	藤田 稔	野内 健一	吉成 好信
8号	大子町行政組織条例の一部を改正する条例	4	10	×	×	○	×	×	○	×	-	×	×	×	×	○	○	×
9号	大子町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
23号	平成30年度大子町一般会計補正予算（第7号）	9	5	×	○	○	○	○	○	×	-	○	○	×	×	○	○	×
30号	平成31年度大子町一般会計予算	12	2	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
31号	平成31年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
32号	平成31年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
33号	平成31年度大子町介護保険特別会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○

※○=賛成、×=反対、△=欠席 - =議長（大森勝夫議員）は採決に加わりません。

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員に 大森勝夫議長を再選

平成31年3月19日に任期満了となる、茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙が今定例会で行われ、指名推薦により大森勝夫議長が再選されました。

茨城県後期高齢者医療広域連合議会は、県内の市町村議会議員から選出された議員で構成され、広域連合の予算や条例などを審議・決定する機関です。

可決された
主な議案の内容は

大子町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

【改正の理由】

医療福祉対策要綱（昭和48年3月29日国保第221号）、医療福祉対策実施要綱（昭和48年3月29日国保第221号）及び茨城県医療福祉費等補助金交付要項（昭和48年7月31日）の一部改正が平成31年4月1日に施行されることに伴い、これらに準拠して受給対象者を拡大するため、条例の一部を改正するものです。

【改正の概要】

受給対象者の拡大（第2条関係）

重度の精神障害者に対する医療福祉費の受給要件に、障害年金1級の受給者のほか、新たに精神障害者保健福祉手帳1級の所持者を追加するものです。

町道の認定・廃止

◆認定

①町道3467号線

起点 大字袋田字向川原

1977番10

終点 大字袋田字向川原

1977番7

②町道5239号線

起点 大字頃藤字仲沢

4227番

終点 大字頃藤字仲沢下

4605番1

③町道5240号線

起点 大字頃藤字仲沢下

4598番1

終点 大字頃藤字梨木町

4566番1

△認定理由▽

①国道118号袋田バイパス整備事業に伴い茨城県が整備した道路で、（仮称）南田気大橋の開通後に廃止となる路線であることから、県から移管を受け、国道118号袋田バイパスから袋田地区への接続道として管理するため、町道に認

定するものです。

②・③JR水郡線仏沢

踏切の廃止に伴い町道

5062号線が分断される

ことから、新たに2つの路

線として管理するため、そ

れぞれ町道に認定するもの

です。

◆廃止

町道5062号線

起点 大字頃藤字仲沢

4227番

終点 大字頃藤字梨木町

4566番1

△認定理由▽

JR水郡線仏沢踏切の廃止に伴い町道が分断されることから、新たな路線として管理するため、当該路線を廃止するものです。

指定管理者が変更されました

指定管理者に管理を行わせる施設	指定管理者に指定する団体	指定する期間
(1)所在地 大子町大字池田 2830 番地 1 (2)名称 大子町観光物産館	(1)所在地 大子町大字池田2830番地 1 (2)名称 一般財団法人大子町振興公社 (3)代表者 理事長 綿引 久男 ↓ (1)所在地 大子町大字池田2830番地 1 (2)名称 一般社団法人大子町振興公社 (3)代表者 理事長 高梨 哲彦	H31.4.1 ~ H33.3.31まで (変更前の指定管理者の 残存期間)
(1)所在地 大子町大字矢田 15 番地 12 (2)名称 大子温泉保養センター森林の温泉		
(1)所在地 大子町大字袋田 3 番地の 19 ほか (2)名称 袋田観瀑施設 ・袋田の滝トンネル ・第1観瀑台 ・第2観瀑台 ・展望台		
(1)所在地 大子町大字矢田 524 番地 2 (2)名称 大子町営宿泊施設やみぞ		H31.4.1 ~ H40.3.31まで (変更前の指定管理者残 存期間)

**大子町副町長に
赤津康明氏を選任**

大子町副町長の和田宗介氏が平成31年3月31日をもって退任することに伴い、後任に赤津康明氏が就任することに同意しました。任期は平成35年3月31日までです。

**大子町教育委員会教育長に
松本成夫氏を任命**

大子町教育委員会教育長の佐藤卓氏が平成31年3月31日をもって退任することに伴い、後任に松本成夫氏を任命することに同意しました。任期は平成33年3月31日までです（残任期間）。

**大子町教育委員会委員に
安齊光彦氏を再任**

大子町教育委員会委員の安齊光彦氏が平成31年3月31日付で任期満了となるため、引き続き同氏を任命することに同意しました。任期は平成35年3月31日までです。

大子町農業委員会委員を任命

大子町農業委員会委員に次の方々を任命することに同意しました。任期は平成34年3月31日までです。

・埴 正比古氏

（下小川地区）

・大畠 義照氏（佐原地区）

・斎藤 弘任氏（宮川地区）

・齋藤美枝子氏（宮川地区）

・益子 英雄氏

（上小川地区）

・菊池洋一郎氏（黒沢地区）

・伊澤 孝文氏（依上地区）

・仲野 壽氏（依上地区）

・佐藤 道廣氏（袋田地区）

・鈴木 和子氏（大子地区）

・藤田 深氏

（上岡土地改良区）

・谷田部好三氏（生瀬地区）

**人権擁護委員候補者に
菊池達男氏を推薦**

人権擁護委員の神永幸一氏が平成31年6月30日に任期満了となるため、後任に菊池達男氏を推薦することに同意しました。任期は平成31年7月1日から3年です。

平成31年第1回臨時会が2月6日に開催されました

条例改正（2件）、30年度補正予算（2件）等について原案どおり可決されました。

第1回臨時会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第1号	大子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	大子町債権管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	町有林産物の売払いについて	原案可決
議案第4号	大子町監査委員の選任について	原案同意
議案第5号	平成30年度大子町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第6号	平成30年度大子町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決

大子町監査委員に益子正道氏を選任

大子町監査委員の本郷正美氏が平成30年12月31日付で退任したため、平成31年2月7日から益子正道氏を選任することに同意しました。任期は平成35年2月6日までです。

平成 31 年第 1 回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

10人の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
受け入れ施設の整備の考えは 理科大施設の今後の活用方針は 災害対策室の設置の考えは	P.11	藤田 稔 議員
町の観光振興の具体策は何か 組織改革、管理職の増員は必要なのか	P.12	菊池 富也 議員
大子町地域公共交通の改善策は 子育て世代包括支援センターの設置は	P.13	野内 健一 議員
設計変更と建設費縮減の内容は 黒沢小跡地の活用と黒沢中跡地の現状は 奥久慈しゃも P R の今後の対応は	P.14	金澤 真人 議員
東海第 2 原発の再稼働は 選挙公約の施策の具体化は デジタルテレビ放送受信のための町の支援は	P.15	佐藤 正弘 議員
女性の活躍する町づくりを 八溝山の展望台と景観について	P.16	吉成 好信 議員
日本一幸せな大子町づくりとは ごみの減量化について	P.17	菊池 靖一 議員
管理機構による休耕田の再利用 太陽光発電設備の進行状況について 通学路の整備について	P.18	櫻岡 義信 議員
スクールバスの安心安全について 町長の対応、認識について	P.19	岡田 敏克 議員
観光やなの支援はどうするのか	P.20	藤田 英夫 議員

一般質問とは・・・

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗状況、将来における施策方針等を質すことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

スマホで「議会中継」を見ませんか！

定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見るができます。

※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから



問 受け入れ施設の整備の考えは

答 急いで検討し柔軟に対応したい



藤田 稔 議員

127名で、小学校5年生まで拡充した。平成31年度の申請状況は、だいたい102名、なかよしが30名、長期休業中のみ24名で、合計156名あった。保護者の就労状況や祖父母の同居、利用学年等を考慮し

点数化して選考した。だいたい65名、なかよし21名、長期休業中のみ(南中)31名、合計117名で決定した。

【藤田】 だいたい保育園のトイレや手洗い等の施設整備の考えを伺う。
【福祉課長】 委託先の清和

【藤田】 放課後児童クラブの利用状況の推移を伺う。
【福祉課長】 平成28年度の利用者数は、だいたい放課後児童クラブが50名、なかよし放課後児童クラブが25名、合計75名で小学校3年生までの利用に限定されていた。平成29年度は、それぞれ60名、36名、合計96名で、小学校4年生まで拡充した。平成30年度は、それぞれ59名、22名、また、長期休業中のみ、リフレッシュセンターが46名、合計

【藤田】 だいたい保育園のトイレや手洗い等の施設整備の考えを伺う。
【福祉課長】 委託先の清和



整備された放課後児童クラブの施設 (南中学校)

理科大施設の今後の活用方針は

【藤田】 東京理科大学大子研修センターの契約更新はいつ頃されたか。また、グラウンドゴルフ場や大子清流高校の寮としての活用は提案されたのか。

【まちづくり課長】 本年1月4日付で締結した。一年間更新後は撤退する意向である。施設全体として跡地利用策を検討したい。

【藤田】 新庁舎建設地として検討したことはあるか。また、今後の利活用は。

【町長】 現在見直すことは考えていない。多方面からの意見を頂き検討したい。

災害対策室の設置の考えは

【藤田】 災害時の電源供給に関する協定について伺う。

【総務課長】 社団法人茨城県建設業協会大子支部と協定している。毎年連絡網を作成して地区を担当者する

事業者の更新を進めている。
【藤田】 石油商業組合大子支部の電源確保について把握はされているか。

【総務課長】 今後は、非常電源についても話をしたい。
【藤田】 災害時の飲料水の確保について伺う。

【総務課長】 非常用井戸水の確保を進めている。また今年度ベットボトルの長期保存水を千本調達した。今後、毎年度千本ずつくらい調達する計画でいる。各避難所配布は、管理等も考えて検討させていただきたい。

【藤田】 一人暮らしや高齢者、障がい者の避難行動要支援者登録について伺う。
【福祉課長】 平成29年度末では、408名である。今年度は、福祉課の職員が169名の自宅を訪問し登録することになっている。

【藤田】 災害対策室設置について考えを伺う。
【町長】 来年度検討する。

その他の質問

○観光振興について

問 町の観光振興の具体策は何か

答 Wi・Fi設置とインフラ整備



菊池富也 議員

名所や観光スポットを見て
いるか。観光地は、見て楽
しみ、心で感じるものであ
る。町の魅力をもっと知る
べきと思うが。

【町長】 滝や温泉は見てい
るが、他は通過した程度。

【菊池】 花桃の苗木の配布
については、9月の定例議
会で町からの提案を受け、
可決した案件で、同じ年度
内にさらに中止を提案する
とは、議会軽視であり町民
の意見を無視している。町
の考えを伺う。

【町長】 花桃に関する公平
性、平等性を考慮し、判断
した。

【生活環境課長】 9月補正
で計上したが、公平性を考
慮した配布方法、地域の特
性、他の種類等の観点から
再検討することとした。

【菊池】 町長は、町の観光
必要もある。

のに公平性・平等性とはど
ういうことか。では、なぜ
9月に補正したのか。

【町長】 配布後の管理、配
布後の苗木の行先がわから
ないので中止した。見直し
を再検討し、来年度に報告
する。

【菊池】 観光の拠点づくり
の具体的な構想はあるか。
【町長】 観光協会、常陸大



ボナイの森の花桃

子駅前の臨時観光案内所が
情報発信の拠点としてい
る。今後、提案のあった道
の駅についても強化して行
きたい。

【菊池】 選挙公約でも所信
表明でも高齢者の支援策に
ついて触れていないが、具
体的な施策はないのか。

【町長】 生きがいづくりや
社会参画の促進、健康づく
りなど現行の施策を継続し
て行く。

組織改革、管理 職の増員は必要 なのか

【菊池】 町は、今まで行政
改革に積極的に取り組み、
職員数の削減や組織の縮小
を図り、スリムな役場を目
指してきた。そんな中、新
たに秘書広報課を作り管理
職を増やそうとしている。
その必要性があるか。

【町長】 対外的な情報発信
力の強化と的確な情報の発
信に役立てる。

【菊池】 現在ある係や担当
の強化で十分ではないか。
【町長】 現在、広報活動は
各課で行っている。今の状
況では一元化は無理と判断
し、課を新設し、広報を一
元化する。

【菊池】 必要性は感じない。
次に、行政改革から現在ま
での職員数と管理職数の推
移を。

【総務課長】 職員数は、昭
和59年457人、平成30年
253人。管理職数は、本
年16人、31年度19人の予定。
【菊池】 本年度までは、行
政改革の効果で職員数が大
幅に削減されている。課を
増設して職員数や管理職員
の数を増やす必要がない。
また、総合窓口の新設も必
要性を感じないが、町長の
考えは。

【町長】 水戸市や近隣の市
町で設けているので設置し
たい。

その他の質問

○児童福祉対策について

問 大子町地域公共交通の改善策は

答 既存の公共交通体系を見直す



野内健一 議員

〔野内〕 町長は昨年、大子町内を細かく歩かれ、たくさんの方と話されて来たと思うが、大子町の地域公共交通について、どのような意見や要望が出され、それに対して、どのように改善しようと考えているか。

〔町長〕 地方圏での地域公共交通を取り巻く環境については、人口減少や少子高齢化、自家用車の利用の増加などにより、大変厳しい状況と認識している。特に路線バスについては町民や

利用者から見直しを求める声がある。例えば、バス停まで距離があり、高齢者や障害を持つ方々に利用しにくいこと。買い物や病院などの外出の目的地に到達しなかったり、帰りの便がないなど利用しにくいこと。目的地までの時間がかかることや、遠方では運賃が高いことなどがある。また、利用者数が少なくなっていることから、路線バスの存続を懸念する声も伺っている。平成31年度においては、大子町地域公共交通再編実施計画の策定を予定している。この計画において路線バス、町民無料バス、スクールバス、タクシー利用助成事業など既存の公共交通体系を見直す予定である。

町村で始まっているが、この運用実験等も参考にしながら、公共交通全体の枠組みの中で検討したい。

〔野内〕 デマンド交通について、どのような考えを持っているか。



設置が期待される子育て世代包括支援センター

〔町長〕 デマンド交通の導入を仮定すると、高額な予算を投入してスタートしなければならぬ。それから広い面積をカバーするに当たって、デマンド型で本当に大丈夫なのか、今のバスをいろいろ改善し車を小さくして何便か回せないか、実際そういう話を町内から聞いている。なるべく早い段階で皆様と協議をして、どういう方向性がいいのかを、皆様に報告できるように努力したい。

〔野内〕 子育て世代包括支援センターの設置について町はどう考えているか。

〔健康増進課長〕 このセンターは妊産婦、それから子育て家庭の方に対して、出産や子育ての相談などに応じて、関係機関と連携し、切れ目のない支援を行っていくものである。このセンターの設置については、町民の努力義務とされており、必須の設置のものではないが、妊産婦や子育て中の親に対して、その相談窓口を明確にして、個別支援の強化になるものである。平成32年度末までに設置する方向で検討している。

子育て世代包括支援センターの設置は

問 設計変更と建設費縮減の内容は

答 3階建てを2階とし面積も縮減



金澤眞人 議員

すい庁舎が前提条件だが、設計変更と設計者の意図との妥協点は図られているのか伺う。

【総務課長】 設計者と協議をして互いに理解して進めている。高齢者や障がい者、子供連れなどすべての方が安全で使いやすい庁舎を指している。

【金澤】 設計を変更し建設費を縮減するとの事だがその内容を伺う。

【総務課長】 3階を2階とし、会議室の数や面積を縮小し、事務機器の数を減らすなどして全体で20%面積を減らす。

【金澤】 それによってどのくらいの建設費が縮減できるのか。

【総務課長】 2割程度を目標に、できる限り縮減したい。

【金澤】 高齢者に配慮した簡素でありながらも使いや

黒沢小跡地の活用と黒沢中跡地の現状は

【金澤】 黒沢小学校のグラウンド、教室、体育館など跡地利用の考えを伺う。

【町長】 設計事務所とも何度も話し合い、規模縮小、コスト削減を考えている。設計者のコンセプトは大事にしている。金額は今後の実施設計、詳細設計の中ではつきりする。

【金澤】 地元材の利用や地元業者の活用について町長の考えを伺う。

【町長】 現在も検討中だが、内装の一部や什器等に木材を利用し、温かみのある空間づくりに努める。

【まちづくり課長】 体育館については、町営体育施設として地域住民や町民に活用いただきたい。校舎やグラウンドは利用を希望する学校や企業の募集も検討しているが、今後地域の声も聞きながら検討する。

【金澤】 以前の答弁では、グラウンドは芝を張りドクターヘリの発着場とグラウンドゴルフの会場など、教室は分割なども含め色々な活用が考えられる、との事だったが。

【まちづくり課長】 様々な

選択肢があるが、今後検討を深めて行く。

【金澤】 現在太陽光発電事業に賃貸している黒沢中学校跡地の事業の状況は。

【まちづくり課長】 ひたひたなか市の丸大フレッシュユーズ（株）が平成26年から売電開始して出力1メガワット。設備の維持・メンテナンスはグローバルリンク（株）が行っているが現在は所長1人がメンテナンス

業務をしている。



新たな活用を待つ黒沢小学校

奥久慈しゃもPRの今後の対応は

【金澤】 奥久慈しゃもが昨年暮れに、鶏肉では日本初で地理的表示保護制度（GI）の銘柄に登録されたがPRなど今後の対応はどう考えるか。

【農林課長】 昨年11月から奥久慈しゃも生産組合、大子よかっぺ倶楽部、特産品流通公社、農林課で研修し、売り方、取り組み状況の再確認、ブランドイメージの再検討、GI登録後の情報発信方法の検討に取り組ん

だ。また親子丼をご当地グルメにしようと講習会を開催した。今後はこれらの研修や取り組みを参考に、様々なメディア媒体へのアプローチ、SNSを活用した情報発信、名物料理の開発、首都圏等への新たな販路開拓など、奥久慈しゃもの増産やさらなるブランド化を推進する。

その他の質問

○少子高齢化対策について

問 東海第2原発の再稼働は

答 町民の声、周辺自治体と連携し判断



佐藤正弘 議員

する詳細な説明を求めている。また、日本原電の動向を注視していく。

【佐藤】 町民の意見を聞くことと答弁しているが、どのような方法で町民の声を聞くのか。

【町長】 町民の声を聞くことに関しては、いろいろなデータを取り込み判断したいと思っている。

【佐藤】 原発事故が起きれば甚大な影響がでる。前町長は、東海第2原発の再稼働に対し、明確に反対の意思を明らかにしてきた。自治体の首長として再稼働反対の意思を明らかにすべきと思うが。

【町長】 再稼働については、町民の意見を聞きながら最終的な決断をするべきものと考えている。日本原電には、再稼働の表明に関



廃炉が求められる老朽化した東海第2原発

【佐藤】 データを取り込むには、実際に町民の声を聞いてみなければわからない。早急に町民の意思を確認すべきと思うが。

【町長】 データの取り方については、今ここで言明できない状況である。町民の声を聞き、周辺自治体とも連携し判断していく。

選挙公約の施策の具体化は

【佐藤】 町長の公約の中で高規格的道路の整備が打ち出されている。どのように進めていくのか。

【町長】 高規格的道路の整備については、関係市町村との広域的連携を密に、県、国交省に対し、積極的に要望を行っていききたい。

【佐藤】 高規格的道路とはどのようなものを考えているのか。

【町長】 自動車専用道路と一般道路の中間的なものが高規格的道路と理解していると思うが、その度合いに關しては、具体例が出てから示したいと考えている。

デジタルテレビ放送受信のための町の支援は

【佐藤】 中郷地区と北吉沢地区では、将来の財政負担から現行のテレビ組合の解散が打ち出された。戸別、班ごとの整備が進められている。しかし財政的理由からデジタル放送が見られない世帯が発生しようとしている。誰もが受信できる町の支援が必要ではないのか。

【まちづくり課長】 町内には、約50のテレビ共同受信組合がある。他の地区でも問題が生じていないか、調査を行いたいと考えている。調査結果を踏まえ、町の対応を検討する。

【佐藤】 ドクターヘリやドクターカーの拡充を掲げているが具体的な考えはどのようなものか。

【町長】 ドクターカー等の医療機器に関しては、今後取り組んでいきたい事業として、今準備している状況である。

【佐藤】 財政面からデジタル放送を受信できない世帯が発生することを町はどのように考えるのか。

【まちづくり課長】 デジタル放送のテレビは生活の必需品となっている。見られない世帯が出ないよう対策が必要になる。

【佐藤】 町として何ができるか早急に結論を出すべきと思うが。

【町長】 個別の金額も出るなども踏まえ新たな考え方を作り、精査し、公開できればと思っている。

問 女性の活躍する町づくりを

答 女性の発想をしつかり聞いて



吉成好信 議員

の方の大活躍ではなからうかと思っている。そういうイベントもひつくるめて、これからの女性の活躍するまちづくりは、どういう方向付けをしていくのか考えをお聞きしたい。

あるとかそういうのも制限されている場所であるが、女性の発想をしつかり聞いて、それが活かされるような場面をつくっていきたい。

〔吉成〕 女性参加のまちづくりは今までいろいろ取り組んできたが、なかなか身にならないというのが大子町の現状である。女性の活躍するまちづくりについてどういう考えを持っているのか。特にまちづくりは女性を中心にならないと、男性はなかなか動かないというのが現実で、大子町は女性の活躍によってまちづくりが出来るわけである。特に十二所神社のひな祭りなどについては、女性

〔町長〕 先般のひな祭りにおいては、私も参加させていただき大子町における女性の方々の非常に努力された姿を拝見させていただいた。なかなか大子町においては、男女ともにいろいろな形で男女平等で働く場所



女性の活躍による町活性化（ひな祭り）

〔吉成〕 県北を縦断、横断する高規格な道路整備については、可能性があるのかお聞かせ願いたい。

〔町長〕 現在県北を縦断、横断する高規格な道路整備であるが、縦軸である国道118号については那珂大宮バイパス及び袋田バイパス等の整備が進められており、横軸である国道461号については昨年3月に大子橋が完成し、現在は常陸太田市、里美水府間の北沢トンネル等の整備が進められているところである。高規格の道路については、昨年の茨城県議会第3回定例会において、県北地

八溝山の展望台と景観について

〔吉成〕 森林管理署、奥久慈県立自然公園の関係者との話し合いは現時点でどうなっているのかお伺いしたい。

〔観光商工課長〕 八溝山の展望台からの景観については、現在森林管理署、それ

域の活力を維持しさらなる発展を促すため、産業、観光の振興や交流促進の基盤、また緊急輸送道路として重要な役割を果たす広域的な道路ネットワークの強化が重要であるとの考えが示された。茨城港常陸那珂港区と県北内陸部を結ぶ規格の高い道路についても、将来的には一本のルートを形成することを念頭に置きながら、既存の道路の機能強化を図ることとされている。各種事業を進めている旨の答弁が県知事からあり、可能性を秘めた事業であると認識しており努力していきたいと思っております。

から県に相談を行っているところである。過去、八溝山で伐採した際に自然保護の観点から苦情があったという話も聞いており、景観と自然環境保護、両方のバランスを取る必要があると思う。

問 日本一幸せな大子町づくりとは

答 町民が幸せを実感できる町



菊池靖一 議員

【菊池】 町長が目指す「日本一幸せな大子町づくり」とはどのようなものか。

【町長】 町民一人一人が幸せを実感できる町づくりである。具体的には、働く世代や子を持つ若い世代が充実することによって、それ以外の人や高齢者の世代が引張られるようにV字回復をさせていきたい。道路等のインフラ整備を一緒に、観光や地場産業を盛り上げていきたい。

魅力向上を図るため、SNSで積極的にPRをする。所信を述べているが、観光地で目を引く一つに町の美しさがあると思う。国道沿いや久慈川沿いの景観整備も有効と考えるが、新たな資源づくりで何か考えがあるか。

【町長】 観光地として主要幹線道路沿線の環境整備は大切だと考える。関係課及び大子工務所等と一度話し合いをして、検討していく。

【菊池】 道の駅の魅力度を向上させることを目的にアクションプランが策定され、今後、様々なメニューを展開していくが、人を呼び込むためには駐車場のスペースが課題である。道の駅の駐車場をどう感じているか。

【町長】 もう少し止められ

たら良いと感じている。

【菊池】 数年前に調整池の上に駐車場をつくる計画があったが、没になった経緯がある。この考えについてはどうか。

【町長】 そのような計画があったことは承知している。町全体を見て、もう一度検討して、そのような策が打てるのであれば努力はしていきたい。

【菊池】 森林の持つ多面的機能を維持するため、林業全体で取組み、地域活性化につなげていきたいと所信を述べているが、どのような事業を実施していく考えか。

【農林課長】 平成31年度から林業経営に適した森林については、意欲と能力のある林業経営者が管理を行い、林業経営に適さない森

林については、市町村が管理をする森林経営管理制度が始まる。

【菊池】 所有者から町が森林を預かって整備をしてい

ごみの減量化について

【菊池】 環境センターの一日の焼却能力は、16トンだが21トン焼却しなければならぬため時間延長で対応している。平成31年度は、大子町第五次総合計画の最終年度になる

が、可燃ごみの収集量が3462トンと定めている。目標達成には町民の意識を高める必要があると考えるが対応は。

【生活環境課長】 お知らせ版などの啓発活動により取り組んでいるが、思うように進まない。可燃ごみの分類を調べると雑

ごみ分類が多いので、これをうまく分別できるようにしたい。今回「ごみの出し方リサイクルマニュアル」を作成して全戸配

り組むを行う。布して、減量化に向けた取

くようなことが、今の農林課の体制でできるのか。
【町長】 仕事の量をしっかりと把握して、人員配置等に関して適正に措置をする。

焼却灰等処分費含む

	収集量(t)	持込量(t)	持込率(%)	焼却量(t)	焼却費(円)	焼却費/kg
平成22年度	4,535.8	841.8	15.7	5,377.6	63,793,221	11.86
平成23年度	4,517.4	919.0	16.9	5,436.4	67,038,464	12.33
平成24年度	4,579.1	923.7	16.8	5,502.8	68,177,152	12.39
平成25年度	4,209.3	855.0	16.9	5,064.2	82,819,377	16.35
平成26年度	4,210.1	898.4	17.6	5,108.4	73,284,816	14.35
平成27年度	4,203.4	1,085.5	20.5	5,288.9	63,387,239	11.98
平成28年度	4,285.6	1,071.4	20.0	5,357.0	78,834,075	14.72
平成29年度	4,270.0	874.6	17.0	5,144.6	78,022,014	15.17

どうする減らない可燃ごみ

問 管理機構による休耕田の再利用

答 農業振興を図る上で大変有効



櫻岡義信 議員

【櫻岡】 休耕田の再利用と農業の効率化を図るため、農業競争力強化基盤整備事業を積極的に活用した区画整備を進めることが有効と考えるが。

【町長】 耕作条件を改善し、意欲ある担い手を活用して農業振興を図る上で大変有効と考える。県営事業につき、県と連携して進めていきたい。

【櫻岡】 整備した農道に連結する町道も併せて整備が可能ではないか。

【建設課長】 区画整備を行う事業者側と町との調整を行い、状況に応じて対応したい。

【櫻岡】 農地集約化の課題として、後継者不在の問題が出てくる。町が率先して後継者をあつげできないものか。

【農林課長】 農林課では随時、就農相談を受付けている。県、JAと連携しての各種入門講座や町内畜産家の受講生受入れにも取り組ん

【建設課長】 区画整備を行う事業者側と町との調整を行い、状況に応じて対応したい。

【櫻岡】 農地集約化の課題として、後継者不在の問題が出てくる。町が率先して後継者をあつげできないものか。

【農林課長】 農林課では随時、就農相談を受付けている。県、JAと連携しての各種入門講座や町内畜産家の受講生受入れにも取り組ん

でいる。このような就農希望者、受講生と農家とのマッチングを県とともに連携して検討したい。

【櫻岡】 農地の区画整備の際に農業活性化のため、イ



再利用が期待される休耕田

ノシシ対策も併せて実施できないか。

【町長】 体制を工夫しながら町民の様々な期待に応えられるようにしたい。

太陽光発電設備の進行状況について

【櫻岡】 大子ヴィレτζ太陽光発電所と小生瀬取上地区の施設の進行状況はどうか。

【まちづくり課長】 大子ヴィレτζ太陽光発電所は、事業者より土地取得に時間を要し、4月より準備工事に着手と伺っている。取上地区の施設は、事業者が林地開発などの手続きを進めている状況と思われる。

【櫻岡】 工事着手時には関係者への連絡をお願いしたい。町に寄贈予定だった大子ヴィレτζのクラブハウスなど付帯設備の活用方法を聞きたい。

【まちづくり課長】 現在、

寄付は受けておらず、事業者が取得する考えと聞いている。

【櫻岡】 将来、太陽光パネルの寿命が来たとき、カドミウムや鉛などの有害物質が含まれているものもあると聞き、適正な処分が確認されているか心配している。町の対策はどうか。

【まちづくり課長】 パネルの処分方法は、環境省のガイドラインに規定されているが、不法投棄が発生する恐れもある。今後、政府の見解を踏まえ対応する。

通学路の整備について

【櫻岡】 通学路、特に町道の舗装に傷みが目立つ。全体的な舗装を検討する時期に来ているのではないか。

【建設課長】 町道の総延長距離は約600kmと長く、全体的な修繕は難しい。優先性や緊急性、交付金活用を踏まえ修繕事業を進めた

問 スクールバスの安心安全について

答 安全走行の注意喚起を促した



岡田敏克 議員

〔岡田〕 スクールバスの安心安全について伺う。平成30年12月6日午後5時17分頃大子町矢田地内で、町と運行業務を委託している会社の回送バスが道路沿いの住宅に飛び込む事故が発生している。この住宅には人が住んでいなかったため、大惨事にはならなかった。またこのバスには人が乗車していなかったことが不幸中の幸いだった。運転手はこの事故の広報はなかった

ため、町民のほとんどの人が知らなかった。事故の原因は不明である。当該の運転手は路線バスやスクールバスを運転していたため、保護者から安全運転を求めるといって、町に問い合わせたが、要領が得ず、私に相談に来た。もしこの車に児童生徒が乗っていたら大惨事になっていたのではないかと。町は町民の安心安全を守る義務があるはずである。この

事故を教育委員会は把握していたのか。
〔教育委員会事務局長〕 事故については2月19日、議員からの情報で知りバス会社を訪問、単独事故があつ

た確認している。
〔岡田〕 町ではスクールバス委託料を平成29年度で2社に合計7578万円を支払っている。スクールバスには5小中学校、8路線で運行140人が命を預けている。教育委員会ではどう対応したのか。



児童生徒の命を預かるスクールバス

町長の対応、認識について

〔岡田〕 地震、風水害、土砂崩れ等町においてもいつ災害が発生するかわからない状況である。町長としてこれらの問題が発生した場合どう対応、行動するのか。
〔町長〕 緊急時、平常時に危機管理意識が欠如していれば対応等を誤り被害が拡大、町民や社会から批判を招くことになると思う。必要に応じて対策会議を設置。緊急事態への段階的対応や迅速かつ効果的な対応を図っていきたくと考えている。

〔教育長〕 2月9日事務局が会社側から聞き取り調査を行い、3月7日私が管理職と面会し改めて事故の状況や運転手の教育他を聴取した。改めて会社に安全運行の注意喚起を促し、申し入れた。会社側には十分に伝わったと思っている。

〔岡田〕 町長に就任した時しばらくの間、公用車を選

挙に使用した事務所に迎えに来させていた。そして現在自ら運転して役場まで来ている。出勤時、頃藤方面から来る姿も目撃されている。現在は公人である。町を預かるトップ、どこから今通っているのか。
〔町長〕 個別な番地までのご勘弁を。大子町大字大子に住所を持って日々通っている。
○その他の質問
○公用車のドライブレコーダーについて
○町の課題と展望について（派遣・退職職員等の立場から）

問 観光やなの支援はどうするのか

答 一年間をかけて検討したい



藤田英夫 議員

【藤田】 大子町観光やなについては、町議会も特別委員会を設置し、調査・研究した経緯があるが、町やな組合の対応に少なからず疑問を感じていた。観光やなが経営難に陥った過程や経営責任の所在が曖昧なまま、赤字経営を続けていたもので、これでは健全な経営を期待できるはずがない。そこで懸案である観光やなの存続を含め、今後の運営等について町の考えを伺う。

【町長】 奥久慈だいがやな漁業組合の経営状況については、平成27年度まで赤字だったものが、平成28年度から支配人を地域おこし協力隊から派遣し、経営改革に取り組んだ結果、黒字になった。しかし、この派遣も本年2月で終了したので、運営が難しくなると考える。また、平成28年度から出資金、有価証券の買い取りが凍結状況にあること、平成29年度末の繰越損失が2千6百万円と大変厳しい状況である。しかしながら、やな組合は、設立から約30年の歴史があることや、やな組合の存続を望む声が多くあることから、やな組合員、理事会役員等と協議し、今後一年間をかけて検討していきたい。

【藤田】 大子観光やなは、県内唯一のやなであり、開設されてから長期間運営されてきたこと等を踏まえれば、存続を前提に考えるべきである。そのための具体的な支援策はあるのか。また、民間や茨城県など外部機関を活用した支援策はないのか。

【観光商工課長】 町は、以前からやな組合に対して、やなの設置・撤去事業への補助を行っている。加えて、平成28年度は観光やなの屋根塗装を、平成29年度は浄化槽修繕に対する補助を行っている。さらに、平成28年3月から本年2月まで、地域おこし協力隊員を支配人として派遣し、経営を補助していた。また、平成30年度からは、やなの設置・撤去事業に限っていた補助

金を、やな組合の運営全般に対する補助金に変更し、3百万円を支援している。平成31年度も運営補助金として3百万円を計上するとともに、観光協会など関係機関と連携を図りながら広報活動にも力を入れていきたい。また、県の地域活性化推進事業を活用し、観光やなの活性化を図りたい。

【藤田】 今後町は、やな組合とどのような関係にわかっていくのか、また、民間の活用についてはどう考えるのか。

【観光商工課長】 本年2月に理事会を開催し、平成31年度について、町とやな組合で議論した。理事会前に、町長、やな組合副理事長、支配人、観光商



経営が危ぶまれる奥久慈大子観光やな

工課長で検討し、提案したもので、今後も町は支援することを前提に運営に関わっていききたい。

【町長】 民間の活用、連携についても、検討したい。鮎をかけて、検討したい。鮎の放流事業など新たな事業についても検討したい。

東京理科大・ 大子研修センターを視察



このたび、大子町議会総務委員会主催による、議会合同研修会として大子町北田気にある東京理科大学大子研修センターの視察研修を行った。この東京理科大学大子研修センターは、当初大子町が県より安価で譲り受けた旧茨城県立大子第二高等学校の土地、建物を更に無償で10年間貸与したものである。東京理科大学は東京に本部のある私立大

学で生徒数は約2万人の大学である。そのような中で、大子研修センターは数ある研修所としては東京理科大学最大規模の校外施設として利用されている。宿泊棟には美しくデザインが施された39の宿泊室のほか浴室、食堂などがある。特に宿泊室は4人の定員で和洋室となっており、落ち着いた環境で勉強できる。また研修棟は、研修所のほか、物理、生物、化学の実験ができる実験室なども整備されている。その他にも体育施設としてグラウンドやテニスコートをはじめ2つの体育館と弓道場などがあり、スポーツ系部活動の合宿には最適となっている。今までの利用状況などを見ると、東日本大震災の年を除けば毎年4千人前後が利用してい

る。それらにより大子町への波及効果もたらされている。特に、飲食に関しては、飲食店組合に依頼して弁当を提供している。この波及効果は年間4千万円にも達している。また体育館や弓道場などは一般市民にも貸し出しされている。そのような中、今年31年度は再契約の年に当るが、大学側の都合により今年一年間だけの契約とされた。詳しい理由はわからないが、全国的に大学の経営が厳しさを増しているとされ、東京理科大学でも大子研修センター以外の施設においても同様の措置を取っていると聞いている。今後、大子町においても1年間の猶予期間のうちに新しい活用方法を模索しなければならぬ。議会としてもこれだけの充実した施設は他にはないので、引き続き学校など、教育機関が最良ではないかなどさまざまな意見が出された。今後、町、議会が連携を持ち早急に対応策を立

てるべきである。

(総務委員会)

一般質問の重複について

議員に与えられた権限のひとつに、一般質問があります。質問の着眼点は議員の技量に委ねられており、それぞれの調査研究により、質問通告書を作成します。

町民から「同じ内容の質問をする必要があるのか」との声を時おり頂きます。

議員が独自の見解で検討を進めても、質問通告が重複することがあります。それは重要度が高いゆえの結果ではないでしょうか。重要案件について、切り口を変え、数名の議員が質問を展開する姿は、望むべき議会のあり方ではないでしょうか。もちろん同じ質問を繰り返すようなことは避け、論点を更に深めていくことが必要です。重複質問について議会の見解は、質問順が後の議員は、それまでの答弁を良く理解し、再

度の精査が必須になるため、各議員の研鑽を促したいと考えます。

野内健一議員 自治功労者表彰を受賞

地方自治の振興発展に寄与した功績により、野内健一議員が全国町村議会議長会から自治功労者表彰（議員在職15年以上）を受けられました。

受賞された野内議員に対し、3月定例会の開会前に議場において伝達式が行われ、大森勝夫議長から表彰状と記念品が手渡されました。



— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



私の将来の夢は、栄養士になることです。自分の将来について考えていた時に、母から「栄養士はどうか」と言われたことがきっかけです。栄養士の仕事内容や、専門学校などを調べていくなかで、この仕事に興味をもち始めました。

私は、病気で苦しんでいる人に「楽しい」と思える食事を考えたり、サポートをしたりなど、たくさんの方が健康的で楽しいと思える食生活の手伝いをしたいと考えています。そして、多くの人との関わり、日本人の食事についても詳しく学んでいきたいです。夢の実現に向け、今からたくさん食品について勉強し、食事で幸せになる人を増やすことが私の夢です。



大子中3年
ましこ みやび さん
益子 雅さん

FM放送のお知らせ



町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。

放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。

議会からののお知らせ

本会議の傍聴受付方法が変わります。

○変更前
会議当日、議場にて傍聴人受付「簿」に住所・氏名を記載。

○変更後
会議当日、議場にて傍聴人受付「票」に住所・氏名等を記載し、設置してある受付箱に傍聴人受付票を投函。

大子町議会 広報委員会

- 委員長 須藤 明
- 副委員長 佐藤 正弘
- 委員 菊池 富也
- 委員 菊池 靖一
- 委員 大森 勝夫
- 委員 中郡 一彦

あとがき

新しい物事の始まりは、わたしたちに様々なことを考えるきっかけを与える。

大子町は、「若者へのバックアップ」を最重要施策とする新町長の下、令和元年がスタートした。

新町政が目指す将来ビジョンはまだまだ明確に見えない段階にはなっていないが、人口減少、少子高齢化が投げかける課題は、そこに住むものが、同じ方向を向くことができなければ解決できないのではないだろうか。

町と議会も緊張感を保ちながら、先頭になり前に進む努力がますます求められるだろう。

(菊池靖一)

6月定例会 開催予定

- ▽5日(水) 開 会
 - ▽6日(木) ～9日(日) 自宅審議
 - ▽10日(月) 一般質問
 - ▽11日(火) 一般質問
 - ▽12日(水) 一般質問
 - ▽13日(木) 逐条審議
 - ▽14日(金) 逐条審議
- 閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

前号(No.196号) 記事のお詫びと訂正

前号(No.196号) 記事に誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。

- ・P12 菊池富也議員の一般質問、顔写真下の議員名(誤) 佐藤正弘議員
- (正) 菊池富也 議員
- ・P13 佐藤正弘議員の一般質問、顔写真下の議員名(誤) 菊池富也 議員
- (正) 佐藤正弘 議員